



たぐすい

TAKUSUI

2000 DECEMBER No.530

12

●特集●

日本海 今だ波高し
日韓新漁業協定のその後…

COLUMN

◆ 博物館 ◆

◆日本での最初の博物館は東大寺正倉院だとする説がある。一定の場所に物品を集めて人に見せるという博物館の原則から考えると、正倉院では一般に見せることを禁じていたから原則に外れる。しかし、飛鳥や奈良時代の寺社は、舶来の美術工芸品を集め、多くの人に見せる努力をしたから、寺社こそ博物館のルーツだと言えるだろう。明治四年に東京九段で博覧会が開催され、数多くの古器旧物が展示され人気を呼んだ。この成功が各地に勸業博覧会ブームを招き、地方博物館が生まれる下地になったのである。

◆北海道の白老にある「アイヌ民族博物館」では、古い集落を復元し、舞踊などを披露して昔の生活風俗を伝えている。また団炉裏（いろり）を前にして、かつての生活様式が詳しく説明される。都市化の波の中で、古いものを守り伝承していくのは、大変な努力が必要だと思っ。古く痛んだ書籍や諸道具は、見方によればガラクタであるが、文化価値からは貴重な歴史の語り部なのである。それらの品々から、祖先の生活の知恵と工夫が感じとれる。復元家屋の中で、当時の扮装をし、往時の暮らしを再現している。これも博物館の一つの在り方だろう。

◆神戸市立博物館に展示されている「国宝指定の桜ヶ丘銅鐸は、何のために作り、なぜ山に埋めたのか、よく解つてはいない。多くの謎を秘めた遺物の前に立って、弥生人の生活をあれこれ想像するのも一興である。東京墨田区では小さな博物館運動によって、産業や文化をPRし町おこしを行ったが、個人の取集品のため規模は小さい。しかし身近な知的レクリエーションの場として、学習意欲や研究心を刺激する材料提供に利用者が多いという。兵庫県下にも取集品を見学出来る施設がたくさん有り、生涯学習への手助けをしてくれている。こうした施設は大歓迎なのである。(◇)

COLUMN..... 2
博物館

ズーム..... 3
松葉がに解禁!

特集..... 4
日本海 今だ波高し
日韓新漁業協定のその後...

TOPICS..... 6
「21世紀漁協システムイメージ刷新運動」
について
NEWミラクル世界猛獣ショー&
木下大サーカス

水試ノート..... 7
スワイガニ雌のアカコとクロコ

栽培漁業センターです..... 8

海区漁業調整委員会だより..... 9
普及員だより
あなたの地域の男女共同参画
社会を考えよう

旬の美味しい話..... 10
かきフライ

兵庫JCC通信..... 11
J A - J A兵庫経済連・J A全農との合併契約
調印式・合併承認の臨時総会を開催
生協一兵協連 創立五十周年を祝う
創立五十周年記念式典を開催

拓水Promenade..... 11
巻末エッセイ「嘘について考える」

豆時事
編集後記

こちら海ですロケだより..... 12
気合いと愛情一筋 潮風でドスコイ
～但馬 浜坂町より～

待ちに待った松葉ガニの初セリ

但馬の冬の便りはなんと言っても松葉ガニ漁解禁です。今年も11月6日に解禁されました。

但馬の漁師さんにとっては、難題が山積しておりますが、一消費者の立場では、解禁は待ち遠しい限りです。

カニすきはもちろんのことお刺身、焼きガニと次々とカニ料理が頭の中を過ぎってきます。

おやつ代わりにセコガニ（松葉ガニのメス）を食べていたという時代はもう来ないのでしょうか。

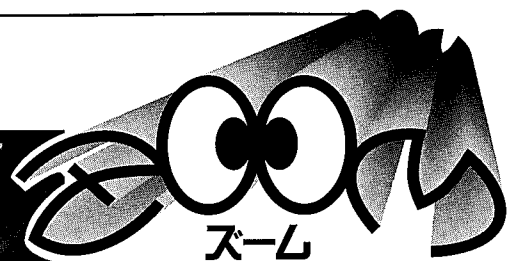
昔の但馬の人が羨ましい。

フォト歳時記

今月の表紙



「拓水」は漁協と漁協システム団体を結ぶ「ミニ」
「ミニ」の場です。告知したいこと、文芸など、
みなさんの投稿は大歓迎いたします。
裏面の発行所「拓水係」宛送付ください。



浜坂港初セリ

松葉ガニ解禁!

十一月六日、この日の但馬地区の各漁港は、ひそかに活気づいていた。待ちに待った、日本海冬の味覚「ズワイガニ」の漁が解禁されるからだ。

初セリは午後二時からの浜坂町漁協を皮切りに各漁協で行われた。初日の最高値は、ご

但馬地区の底曳網漁船は午前〇時の網入れに向け一斉に出漁し、その日の初せりに間に合うように各船帰港し手際よく浜上げを済ませた後、一息つく間もなく、出漁して行く。隻数は昨年より一隻少ない五十六隻であった。

祝儀相場も有り、柴山港漁協のオスのズワイガニが一枚五六、七八〇円の値がついた。漁獲量は、各漁協まちまちであり、単価はオス、メスともに、ここ数年の低下傾向から横這い、ないしは若干回復の模様であった。また、漁場は但馬地先海域なので韓国船とのトラブルはなかったが、今後、隠岐北方に漁場が移った場合にはトラブルが発生する心配がある。

各漁協の初セリ状況

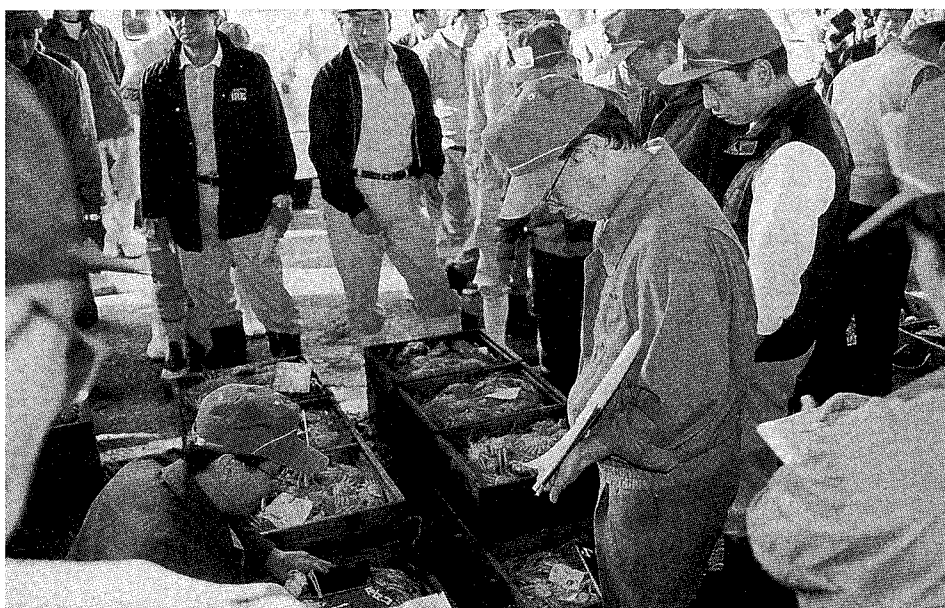
津居山港：水揚げはオス、メスとも昨年より多かった。単価は昨年に比べオス、メスとも若干よかった。

竹野浜：水揚げはオスは昨年並み、メスはやや少ない。単価はオス、メスとも昨年並み。

柴山港：昨年の初セリが7日だったため、単純な比較はできないが、概ね例年並の状況であった。

香住町：昨年の初セリが7日だったため、単純な比較はできないが、単価は昨年よりやや高いものの全体的には昨年並みであった。

浜坂町：セコガニの水揚げは他漁協と比べるとかなり多い。オスは昨年よりも若干少なく、型はやや小ぶりの模様。



柴山港初セリ

日本海 今だ波高し

日韓新漁業協定のその後……

平成十一年一月、永年の悲願であった日韓新漁業協定の発効を機に、我々、但馬の漁業は新しい枠組みのもと、新たな出発の時を迎えた。

旧漁業協定下では、両国ともが領海十二海里を除く全ての海域は公海とし、双方の漁業規則を尊重することを前提に、日韓両国漁船は日本近海で入り乱れて操業を行ってきた。しかしながら、実態は日本側にとって大変憂慮される状況が年々増してきた。

例えば、漁業の取り締まりについても、協定が旗国主義のため、日本側の思うに任せず、韓国漁船による資源管理理念の欠片など毛頭見せない無謀操業が繰り返されてきた。過去には、日本漁船が韓国近海に魚を求めて出漁した歴史もあり、旗国主義が日本側に有利に働いた時期があったのも事実である。しかし、近

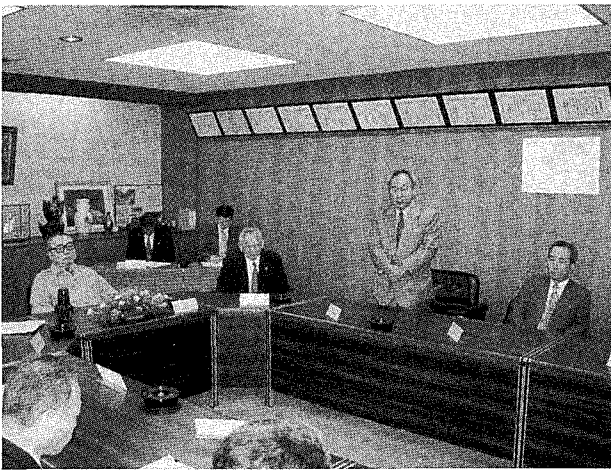
年、韓国は大きな経済成長を成し得て、まさか日本近海で日本漁船をこれほどまでに苦しめる存在になるとは、予想できなかったことも事実である。

我々は、「底曳網漁法」により魚や松葉ガニを漁獲し、一方韓国は、「魚は「底曳網漁法」、カニは「底刺し網漁法」で漁獲するという双方異なる漁法で操業したためトラブルが発生して当たり前という状況であった。

戦後日本も経済成長するにつれて、飽食の時代をむかえ、松葉ガニの付加価値も、うなぎのぼりとなり、漁獲における松葉ガニの依存度が次第に大きくなり、韓国とのトラブルが多発してきた。

その背景には、日本商社の利益追求を第一義とする、国益を無視した韓国漁船への働きかけがあった事も

事実である。例えば、韓国漁船が知り得ない漁礁や好漁場のデータを提供して韓国漁船の日本近海出漁を容易にし、当時韓国では日本に比べて付加価値が少なかったカニの漁獲を働きかけ、日本に輸入するなど、日



谷農林水産大臣を囲んでの懇談

本近海資源、特に、松葉ガニ資源の枯渇を助長し、日本漁船の経営は年々苦境にたたされていた。

韓国漁船はカニを漁獲するには最適かつ効率的な「底刺し網漁法」であるために漁獲高は右肩上がりとなり、漁船の大型化・近代化が進み、資源管理などまったく無視した拡大路線を歩んできた。

このように、旧協定下では、韓国の資源管理を無視した、日本側から見ると違法かつ無謀操業がまかり通り、いかに日本近海の底曳網漁船が影響を受けてきたかが明確である。

日韓新漁業協定では、竹島領有の問題を棚上げし、日韓両国が同等の権利を有する暫定水域が広範囲に設定された。

現在、この暫定水域内には、韓国側の幅二Km、長さ四十Kmにわたる底刺し網が縦横無尽に幾重にも張り巡らされており、松葉ガニの好漁場はすべて占領されている状態である。

日本の底曳網漁船が行う「打ち廻し漁法」に比べ、韓国船の「底刺し網漁法」は、約十倍の漁獲効率があらると言われている。このままの資源管理を無視した状態が続けば、松葉ガニをはじめとする底魚資源の枯渇は免れない。



こうした中、今年七月には、第二次森内閣が発足し、農林水産大臣に地元選出の衆議院議員、谷洋一先生が就任されることとなった。

但馬では、早速十月に、大臣・水産庁長官を迎えて、兵庫・鳥取両県の漁業者約三百人を集め、兵庫県漁連主催による「農林水産大臣と漁業者との懇談会」を開催し、難航する日韓民間漁業者間協議の打開を要請した。

大臣からは、政府として、日韓の民間協議が一刻も早く解決できるよう努力することが約束され、その後、十一月初旬には大臣自らが韓国に向き、韓国側に対し、事態打開へ向けての強い要請会談が行われた。

一方、民間協議は平行線をたどるばかりで、何ら進展は見えず、松葉ガニ漁解禁（十一／六）が近づくにつれ、但馬の漁業者から「暫定水域内操業によるトラブルもやむなし」といった強硬な意見も出始めた。

こうした中、但馬地区五漁協組合長を中心に訪韓団を組織し、民間協定早期締結にむけて努力すべく、日本側が考え得る最大限の妥協案を引上げ、正式協議とは一線を画し、直接韓国の関係漁港を訪ね、草の根交渉を行うべく準備を進めていた。

ところが、訪韓数日前になって韓国政府より、兵庫の訪韓団を正式民間協議に格上げして、協議を再開したいとの申し出により、第七回日韓民間漁業者協議が開催される運びとなった。交渉協議では、地元韓国KBSテレビが取材に入り、夕方のニュースで報道されるなど、韓国内の関心の高さが感じられた。しかし、交渉の結果は、日本側の提案に対して、ことごとく拒否するだけで、韓国側からは何ら譲歩や提案はなされな



韓国浦項（ポハン）漁協にて第七回日韓民間漁業者協議開催

かった。

漁協代表訪韓団帰国後、谷大臣と底曳網漁業者との二回目の懇談会が開催され、大臣訪韓時の交渉内容や漁業代表者訪韓時の状況報告を行い、今後の対応について話し合いがなされた。大臣からは、日韓の大臣間の協議では、「韓国の無秩序操業、資源管理意識の欠如を強く抗議した。韓国側からは、必ず漁業者を説得するとの回答はあったものの、具体的な対応策については表明はなかった。このような国際間の協議・交渉はとにかく粘り強く行うことが肝要であり、今後も、政府として引き続き努力する」との力強い決意表明をいただいた。

しかし、松葉ガニ漁解禁後、二十日余りを過ぎた現在、暫定水域内の操業ルールの構築は今だなし得ず、今後、生き残りをかけての暫定水域操業への出漁は不可欠であり、韓国船との操業トラブル発生は必至。漁具被害や人身事故発生等の危惧等、経済的・精神的苦痛ははかりしれず、一日も早い、操業ルールの確立と日本政府による漁業者（日本国民）の生命・財産を守る施策を願うものである。…日本海 今だ波高し…

県漁連 但馬支所

「21世紀漁協系統イメージ刷新運動」について

「21世紀漁協系統イメージ刷新運動」は、日本の漁業、漁協系統、そして供給される水産物が、消費者から理解され、愛され、支持を受け、信頼を獲得することを目指した取り組みです。

●なぜ、いま、漁協系統イメージ刷新運動なのか

21世紀へと変化する時代の中、健康志向、自然志向の高まりとともに、消費者は食べるものに対する安全性、品質、生産周辺の環境保全に、厳しい目を向け始めています。またニーズも多様化し、さらにおいしさを求めたり、身体にいい物が見直されたりしています。特に水産物には高い期待が寄せられています。一方、国も水産業についての抜本的見直しをはかり、水産物の安定供給や漁業地域の活性化等の具体策を策定しました。(水産基本政策大綱及び同プログラム)

このような状況の中、消費者は、日本の漁業、そして水産業従事者に、高い期待をしています。

しかし、一方で漁業や漁協の活動は、一般消費者には十分認知され、理解されているところまでは、残念ながら至っていないのが現状です。こうした背景を踏まえ、私たち組合員、職員自身、21世紀における社会的役割を再認識し、我が国周辺で水揚げされる魚が安全、安心、新鮮であることを消費者・国民に理解されるように、また漁協系統の役割を認知されるように、イメージとともに、意識も、実体も変えていく必要があります。

21世紀における漁協系統の望ましい姿を明らかにし、その姿を消費者にイメージしてもらいながら、実体をその姿に限りなく近づける、これが本運動のねらいです。

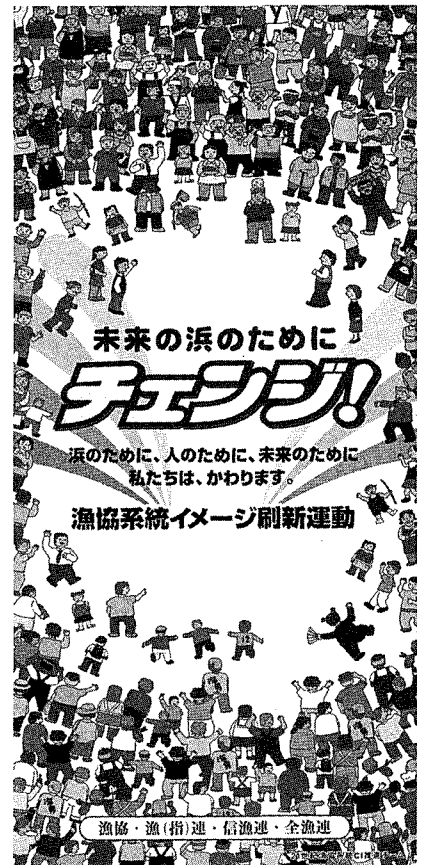
●取り組む3つの課題とは...

本運動では、このようなねらいを踏まえ、イメージ・意識・実体の3つの側面に取り組みます。

1 イメージ 消費者に親しまれる統一呼称=コミュニケーションネーム・統一ロゴマークを策定し、消費者とのコミュニケーション活動を積極的に展開、漁協系統の新たなイメージ形成をはかります。

2 意識 組合員・役職員の現状意識を把握し、行動綱領の策定など、意識改革の方向性を明らかにし、改革に着手します。

3 実体 主に、合併などの組織改革を引き続き実践します。



インフォメーション

**木下大サーカス神戸公演に
先着10組ペア(20名様)をご招待**

この度、神戸21世紀復興記念事業・社会福祉事業協賛として、世界を感動させた美しい獣たちとのスーパースペクタクル「NEWミラクル世界猛獣ショー&木下大サーカス神戸公演」が4年ぶりに開催されます。
史上希に見るライオンとトラ、ヒョウ等12頭が競演する「NEWミラクル世界猛獣ショー」をはじめシマウマ・ビッグミーカーン・キリンが競演する「サファリスペクタクル」等、夢と笑いとスリル溢れる豪華舞台が展開されます。

開催期間 平成12年12月23日(祝)

平成13年3月5日(月)

休演 毎週木曜日と12月31日

(但し、1月4日(木)は開演)

開催地 ポートアイランド特設会場
(市民広場駅南側)

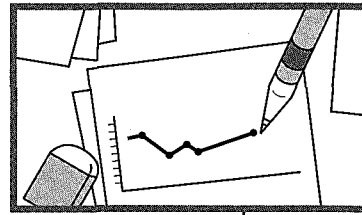
申込み方法 兵庫県漁連指導部組合課「拓水」係まで
申込み下さい。

電話番号(078)65213445

・なお、先着10組(各団体1組以内)までとなり
ますので予めご了承下さい。

・締切日 平成12年12月25日(月)





ズワイガニ雌のアカコとクロコ

冬の訪れと共に、但馬にまた松葉がに（ズワイガニ）の季節がやって来ました。

兵庫県のズワイガニ漁獲量は、一時は二百九十九トン（平成三年漁期）まで落ち込みましたが、平成十一年漁期には千二百九十トンにまで回復しました。これは保護区域やズワイガニ漁期外の操業自粛水深帯の設定、小型ガニの再放流等の稚ガニや水ガニの生残率を高める取り組みと、魚場造成、移植放流等の官民一体となった努力が功を奏したものと云えるでしょう。

しかし、根本的な資源の維持増大のためには再生産力を高める（産仔量を増やす）ことが重要なことと言ってもなく、近年の雌ガニの漁獲割合の増加（平成十一年度漁期で総漁獲量の四六％）は気になるところです。そこで、雌ガニの資源管理について考える前段階として、今回はズワイガニ雌の成熟と産卵について整理してみたいと思います。

ズワイガニ雌の成熟・産卵周期を模式的に図1に示しました。第十脱皮齢の未成熟雌（マンジュウ）は、夏～秋季に生涯最後の脱皮を行って成体となり、数日の内に交尾と第一回産卵（抱卵）を行います。第一回産卵の場合、幼生は産卵から一年半後の二～三月に孵化します。孵化後十日前後で第二回の産卵が行われます。第二回産卵以降は、産卵から幼生の孵化および次の産卵までのサイクルが一年となります。一個

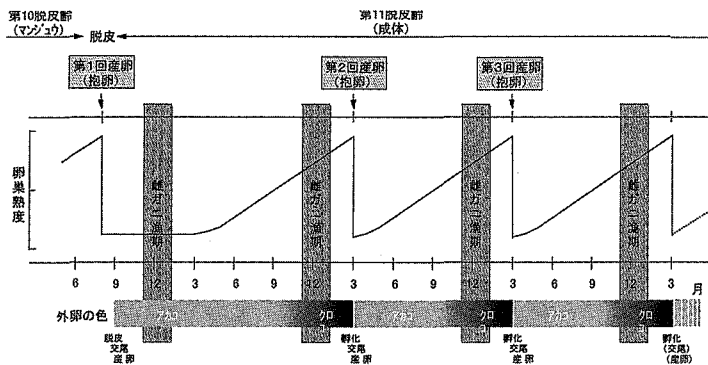


図1 ズワイガニ雌の成熟・産卵周期模式図

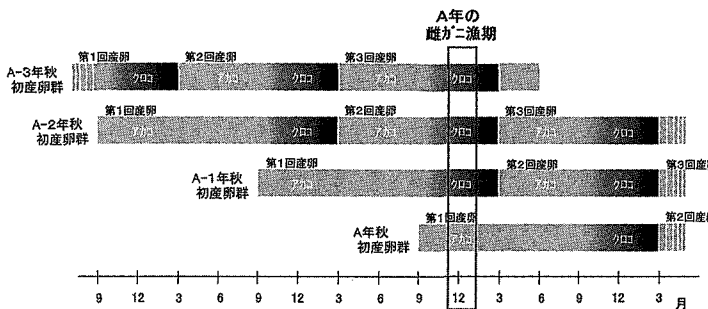


図2 アカコとクロコができる仕組み

体の生涯産卵回数は三～五回と考えられていますが、第二回以降の産卵直前の交尾の必要性については議論があるところです。一方、卵巣（内仔）はマンジュウおよび成体ガニにおいて周期的に増減し、産卵直前にその熟度（重量）は最大となります。ただし、第一回産卵後に限り、卵巣の成熟は約半年間停滞します。

次に、アカコ、クロコとはどういう状態のものを指すのでしょうか。ズワイガニの成体雌は、腹肢に受精卵をほぼ周年付着させています（抱卵）。卵は当初卵黄に富みオレンジ色ですが、孵化の半年前の秋以降、卵内の幼生の発生が進み複眼等に色素が形成されるにつれて、次第に黒みを帯びてきます。そして、外卵がオレンジ色をした雌ガニがアカコ、茶褐色から黒紫色を呈しているものがクロコと呼ばれます。クロコは幼生の孵化を半年以内に控えた個体なので秋～春季に限って出現します。

今度は個体群としてのアカコとクロコの中身を見てみましょう。同じ成体雌ガニなのに、漁期中（十一月上旬～一月上旬）にアカコとクロコに分かれるのは、前述の通り、産卵が第一回目に限り夏～秋季に行われ、外卵が翌年秋までの一年間オレンジ色の状態のまま経過するためです（図1、2）。したがって、クロコが前年秋以前に成体となった複数の年級群で構成されるのに対し、漁期中のアカコはほとんどが漁期直前に成体となった単一の年級群です（図2）。

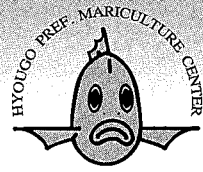
ところで、現在アカコは自主規制の形で採捕禁止となっており、第一回産卵直後の漁期中は漁獲を免れますが、翌年漁期には漁獲対象となります。近年、クロコの大半が前年秋初産卵群（前年のアカコ）で占められていることから、実は漁獲された雌ガニの大半は一度も再生産に加わることなく一生を終えているのです。これを改善する一つの方法として、混獲されたアカコの保護水域への再放流が考えられます。放流されたアカコが少なくとも一回は再生産に加わることが期待できる、他海域からの移植放流のような遺伝的な問題がなく経費も掛からない、保護水域のより積極的な利用につながるという点で、一考に値すると思います。

いずれにせよ、今後は取り残すべきクロコの量と具体的な手法を提言できるよう、調査検討を進めていきたいと思っています。

（但馬水産事務所試験研究室 大谷 徹也）

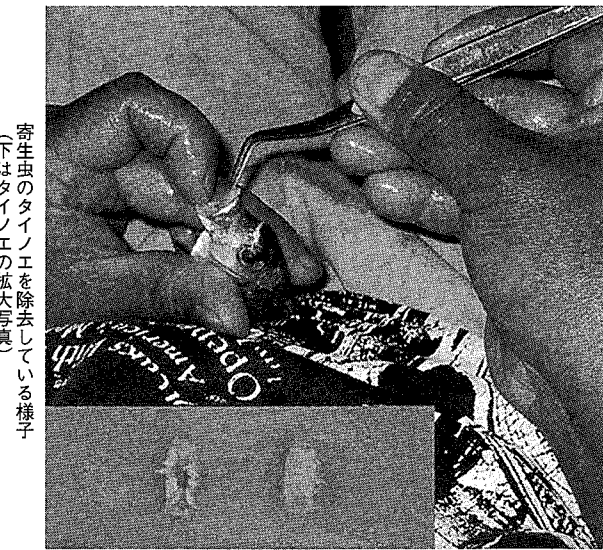
栽培漁業センターです

147



但馬栽培漁業センターではマダイ、ヒラメ、アワビ、サザエの放流用種苗の生産を行っています。これらに必要な卵を、欲しい時に安定して得るため、親を周年に渡って管理することは、私たち栽培技術者にとって、最も重要な仕事のひとつです。餌を定期的に与えるだけでも飼育は可能ですが、こういった飼育では、必ずしも良質な卵が得られるとは限りません。よく観察し、常に状態を把握することや、これまでの飼育記録から、これから魚がどうなるのかを予測することが必要です。しかし、このように管理された親でも何年間も使い続ける訳にはいきません。高齢魚は産出する卵量は多いものの、卵質が悪くなるとされていますし、さらに同じ親魚群から得られた卵を用いて種苗を育て、一定の海域に放流したとすると、遺伝的な偏りが生じてしまうかも知れないからです。当センターは放流するための種苗を生産する機関ですから、このような種苗は望ましくありません。そこで、親魚や親貝は毎年、あるいは定期的に更新を行います。親魚に適しているのは、地元で獲れた、なるべく若い魚であることや、病気を持っていない健康な魚であることが条件です。若い魚が良い理由は、それまで海の中で天然の餌を摂ってきた魚は大きくなるほど、私達が与える配合飼料に餌付けることが難しくなるから

です。今回は当センター地先で九月から十月に採捕された、平均全長七・五センチ、平均体重十四・六グラムのマダイ稚魚、約百七十尾を親魚候補として育成してゆくこととしました。しかし、これらの稚魚も全て天然のものであるとは言い切れません。但馬地域ではマダイ種苗を浜坂町三尾と竹野町竹野新港で粗放的中間育成の後、放流していますので、相当な移動距離はあるものの、香住の当センター周辺でこれらの放流魚が採れてもおかしくありません。そこで、これらが天然魚か放流魚かを見分けるために鼻孔の形状を調べました。鼻孔は左右に二つずつあるのが普通ですが、人工魚では前穴と後穴がつながっている個体が多く見受けられます。この特徴は、市場で放流魚の採捕率を調査する際にも利用されています。今回、親魚候補として採捕された百七十尾群には鼻孔がつながっている個体は見られなかったの

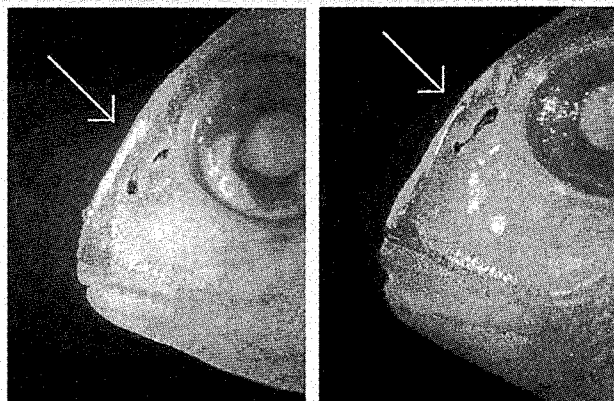


寄生虫のタイノエを除去している様子
(下はタイノエの拡大写真)

で、天然魚である可能性が高いと思われる。採捕後は体表のズレ傷などを観察し、状態の悪いものは取り除きます。次に口の中に寄生虫のタイノエがついていないかを調べます。この寄生虫は大きなマダイに寄生している場合はそれほど問題ではありませんが、今回採捕したサイズの魚では、口内のかき取りの面積を占めてしまうため、餌が採れずに衰弱する個体が出てくるからです。一尾つづき口を開けて、タイノエが着いている場合はピンセットで除去します。これらの作業を済ませるとようやく親魚水槽に収容することができます。今回採捕したマダイ稚魚が数年後には当センターのマダイ種苗生産を支えて

くれる親魚となるように、私たちは上手く管理していきたいと思っています。ところで、各事業所の状況ですが、二見の栽培漁業センターではアサリのアンボ期幼生を三千二百万個体、ウニの六腕期幼生を三十万個体、殻長〇・三ミリのメガイアワビを六万個体、マダカアワビの浮遊幼生を六百万個体飼育しています。また、オコエ全長五十ミリ、一万尾を中間育成試験中です。淡路島の津名事業場ではナンククロブシスの濃縮作業が行われています。但馬栽培漁業センターではサザエを平板から剥離し、カゴ飼育中です。また、アワビの採卵が始まろうとしています。

(兵裁協 南浦達也)



鼻孔の形状
(左：正常魚、右：前穴と後穴がつながっているもの)

海区漁業調整委員会だより



十月三十一日
兵庫県瀬戸内海海区漁業調整委員会委員協議会(兵庫県民会館にて)

一、「海洋生物資源の保存及び管理に関する兵庫県計画」の変更について
平成十三年の本計画の変更箇所について水産課から説明を行った。
この件については、来月の委員会でも知事から諮問が行われる予定。

二、平成十三年度岡山・兵庫県瀬戸内海連合海区漁業調整委員会における入会協定について
現在の協定内容について事務局から説明を行い、関係委員に来年度の入会協定について検討を依頼した。

三、海面遊漁等と漁業との調整に係る制度の整備を図る際のガイドラインについて
このことについて水産課から説明を行い、その後意見交換を行った。

四、タチウオを目的とした小型機船底びき網漁業についての調整について
このことについて西岡・丸一両委員から報告が行われ、その後意見交換を行った。



十月二十三日
但馬海区漁業調整委員会委員協議会(但馬水産事務所会議室にて)

一、海洋生物資源の保存及び管理に関する兵庫県計画の変更について
平成十三年の県TAC管理に関する計画案について事前協議がなされた。
この件については、来月の委員会でも知事から諮問される予定。

二、いかつり漁業の許認可取扱方針について
当該取扱方針の更新に向けて、前回に引き続き協議した結果、赤いか(ソデイカ)釣り漁業の取り扱い(夜間に光力を使用し赤いかを釣る漁業も許可対象とすべきか否か)等について検討していくことになった。

三、海面遊漁等と漁業との調整に係る制度の整備を図る際のガイドラインの考え方について
水産庁から示された当該ガイドラインの考え方等について、県水産課から説明がなされ、その後、意見交換を行った。

四、全漁調連日本海ブロック会議の概要について
当会議の概要について報告。



普及員だより

あなたの地域の男女共同参画社会を考えよう

昨年、男女共同参画社会基本法が制定され、各分野で取り組みが始まりました。
しかし、「男女共同参画社会って何?」「今の社会のどこが不満?何を変えようとしているの?」と疑問の声も多いようです。

身近な地域社会の問題から考えてみたいと思います。

- 次の問に「はい」か「いいえ」で答えてみてください。
- 自治会等の会長は、男性がなつた方が信頼感がある
 - 地域の大事なことを決める場合には男性が出席するべきだ
 - 自治会等の会合でお茶の準備や片づけは女性がするのが当たり前である
 - 会合の席順は男性が上座に女性が下座に座るのが自然な姿である
 - 漁協理事等役員は女性では務まらないと思う
 - 女性が地域社会で発言するのは生意気だと思う
 - 地域で女性達が行動を起こすと中傷されやすい

んか。
男女共同参画社会とは、「ジェンダーフリーの社会」を実現することだと言われます。

今まで「女の役割・男の役割」とみなされてきたものは、生まれながら女性や男性に備わっているものでなく、長い歴史のなかで社会や文化がつくり上げたもので、普段は気づかず、当たり前のこととして、見過ごされてしまっているのです。

ジェンダーとは、こうした「社会的・文化的につくられた性別」のことをいいます。

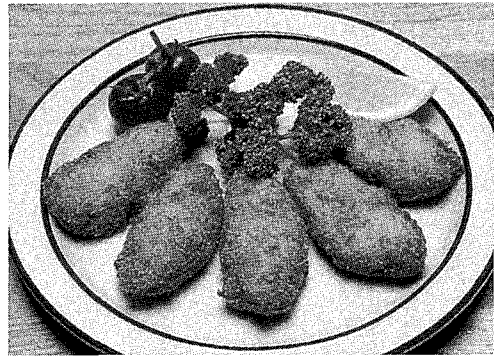
あなたの地域や社会生活のなかで、「代表者や責任者は男性、女性は補佐役、雑用係」などと役割が決まっていないでしょうか。女だから、男だからという理由だけで活動の場や役割が決まってしまうのはその人、個人個人の力が発揮できないし、これでは、女性にとっても男性にとっても暮らしやすい社会、生きがいのある生活は実現しないのではないのでしょうか。

このように、私たちの暮らしや職場、地域で何気なく組み込まれているジェンダーに気づくことが男女共同参画社会の実現への取り組みの第一歩なのです。

県立中央農業技術センター

専門技術員 谷本留美

かきフライ



◆材料(4人分)

- かき 20粒 卵 1個
- 酒 大さじ2 パン粉、揚げ油 適量
- 塩(こしょう) 少々 レモン 1個
- 小麦粉 適量 パセリ、ミニトマト

◆作り方

- ①ボールにたっぷりの薄い塩水を用意し、かきを手のひらにのせて、1粒ずついいねいにかき洗い、水けをきっておく。
- ②なべに①のかきを入れて酒大さじ2をかり、強火でかきの身がふっくらするまで酒いじらす。
- ③かきをざるに上げて水けをきり、塩、こしょう少々をふって、小麦粉、溶き卵、パン粉の順に衣をつける。
- ④揚げ油を170℃に熱してかきを入れ、薄く色よく揚げ、お皿にカラッと揚げる。

兵庫JCC通信 今、JA・生協では

JA

JA兵庫経済連・JA全農との合併契約調印式・合併承認の臨時総会を開催

JA兵庫経済連は十月二十日、JA全農との統合を目指す全国二十一の経済連と合同で、東京・高輪のホテルパシフィック東京において「合併契約調印式」を行い、二十一の経済連がそれぞれ来年三月三十一日に全農と合併する旨の契約書に調印しました。

調印式にあたり、本県の今井和男会長は「今回の統合は、新たな全農として事業・組織を二段階にするという改革を通じて、より一層のJA経済事業の合理化と競争力の強化を図り、生産資材のコスト低減・地域農業の振興強化等、統合連合会ならではの目に見える施策を実践し、JA組合員・JA利用者の期待により一層こたえていくことが目的である」と、二十一府県連会長談話の中で表明しました。

さらにそれをうけて十一月九日、JA兵庫経済連の「臨時総会」がホテルオークラ神戸で開催され、正式にJA全農との合併が承認されました。臨時総会に引き続き、県内JAの組合長・役員・参事、行政、各団体の代表など関係者約百八十名が出席して「合併総会記念式典」が盛大に行われました。



JA全農との合併契約を締結する調印式の様子

合併により、五十年にわたって親しまれてきた兵庫県経済農業協同組合連合会の名称はなくなりませんが、来年四月一日からは、「全国農業協同組合連合会兵庫兵庫本部」として新たにスタートします。

生協

兵協連 創立五十周年を祝う 創立五十周年記念式典を開催

兵協連では、創立五十周年を祝って、十一月七日(火)午後二時から舞子ピラで記念式典を開催しました。記念式典はまず、五十周年記念式典実行委員長・前川千佳子理事の挨拶で始まり、第一部、「生協再生への挑戦」講師若林靖永氏による記念講演へと続きました。

第二部「記念式典」では、まず、主催者を代表して小倉修悟会長が挨拶の中で、設立趣意書を読み上げたあと、二十一世紀における生協の新しい存在価値を築き、自助・公助・共助によって、生協の連帯、連携を深め、地域社会への貢献を誓い、つづいて、井戸敏三・兵庫県副知事、笹山幸俊・神戸市長、柏木保・兵庫県議会議長、今井和男・兵庫県農業協同組合中央会会長、竹本成徳・日本生活協同組合連合会会長からお祝いの言葉をいただきました。



50周年を記念して募集した絵画・作文の表彰式
(創立50周年記念式典より)

小学校五年・岡田絵里さん、作文部門金賞に輝いた西宮市立塩瀬中学校三年・半田佳世さんに、小倉修悟会長より賞状と図書券が贈られ、拍手の中、創立五十周年記念式典を終わりました。

巻末 エッセイ

嘘について考える

◆「嘘も方便」とは仏教の経典から出てきた諺で、衆生済度（しゅじょうじゆだ）のために釈迦も嘘を用いたということである。嘘が良くないという気持ちがある限り、多少の嘘を述べることは許される筈というのだが、嘘も追従も世渡りの方便だとか。しかし、嘘をつくことを奨励している訳では勿論ない。嘘はつかぬ方が望ましいのは言うまでもあるまいが、世間には嘘という鎧（よろい）を着けた人物も多いとみえ、マスコミを騒がせる話があとを断たないようだ。

◆嘘か真実かの判断は、本人の考えや決断からのものだから、騙されたことに対し自己責任は免（まぬ）がれない。そのため嘘を恨みつつも、泣き寝入りをして我慢することが多い。そんな心理の裏を巧みに突く犯罪行為が、虚偽の話で金品を騙し取る詐欺（さぎ）である。ブランド品の擬い物（まがいもの）が出回るのも、高級品志向に走る消費者心理を巧みに衝いて利用している。騙されないためには、詐欺師以上に色々な知識をもつことが必要になる。保険金の支払いに関する請求は、その内容が厳しく審査されるといって、事実無根のものに多額の保険金が支払われるケースもあるようだ。和歌山県の毒物採取による保険金詐欺事件も、知人の命を担保に、保険事務の裏を操作した悪質なものであった。

る。真実を求めて多くの証言がなされ、弁護側のアリバイ証明にも言及があった。しかし被疑者に無罪判決が出る。恐ろしい程の長時間をかけた裁判だったが、現実には死亡した被害者はどうなるのだ。誰かが手をかけた筈の事実が、これで宙に浮いてしまう。真実を述べた証言者はなぜかと憤慨するし、人の記憶というものの曖昧さが指摘される。誰かが嘘を申し述べたに相違ないのに、誰にもそれが判らないのである。人が人を裁く難しさが此処（ここ）にあるようだ。真実とは一体何なのであるうか。

◆大つづらに嘘の表明を行った結果、変な流れから飛んだことが明るみに出てくる。不祥事つづきの体質を改善し、何とか信用を取り返したいという、舌の根が乾かぬ内に、またかと呆れさせられる。監察のため派遣した監察官が、口々に監察もせず何をしていたのか、そんな監察官は誰が監察すれば良いのか。世間は大声を挙げ税金の無駄づかいを批判したが、最上階にいる高官がごめんなさいを言いつて終結する様子だ。嘘はいけないよと、戒めた矢先に嘘をつかれたようである。何が真実なのか益々分からなくなってくる。

◆「嘘で固めた世の中」とは、絶望的な諺である。人間に自己防衛という本能がある限り、真実を隠して虚偽を述べる。根底では、嘘をつく事を否定しながら善意の嘘は善しとする考え方があり、生活の利便を得るためならば、真実を隠し通すのも良かれと思わねばならぬのか。検察の調べから大きな嘘が露見して、獄へと落ちる人に驚かされるが、余りにも大

年賀状の慣行（授受）の自粛について

兵庫県水産系統団体では昨今の社会経済情勢に鑑み、あらゆる面において合理化を心掛けておりますが、年賀状や暑中見舞いにつきましても合理化の一環と考え、従来からの慣行（授受）は自粛させていただくことといたしました。事情をご賢察のうえ、ご理解を賜りますようお願い申し上げますとともに、今後も変わらぬご支援・ご指導を賜りますよう、よろしくようお願い申し上げます。

（兵庫県水産系統団体）

- | | |
|----------------|-----------------|
| 兵庫県漁業協同組合連合会 | 兵庫県信用漁業協同組合連合会 |
| 兵庫県漁業共済組合 | 共水連兵庫県事務所 |
| 兵庫県漁業信用基金協会 | 兵庫県内海漁船保険組合 |
| (財)兵庫県水産公害対策基金 | 但馬漁船保険組合 |
| (財)兵庫県水産振興基金 | (財)兵庫県栽培漁業協会 |
| 兵庫県漁港協会 | 兵庫県瀬戸内海漁業操業安全協会 |

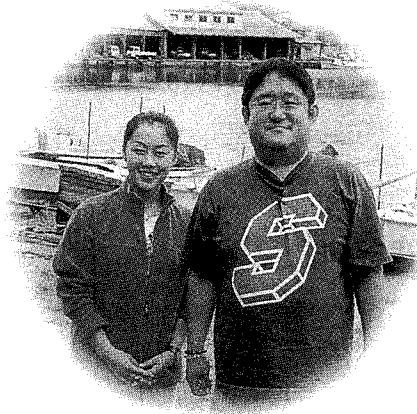
順不同

層が形成される。他愛ない嘘は撤回し易いが、大きく発展した嘘は身動きが取れなくなる。(◇)

編集後記

- ◆冬本番を迎え、皆様風邪などお召しにならないようにお気をつけ下さいませ。職場では、風邪の菌が蔓延しております。
- ◆今年は区切りの年と考え、今までやり残してきたことを1つずつ片付け、来る21世紀を迎えようと年の初めに決心したのに、振り返ってみると何もできていなかった。己の行動力の無さと、不甲斐なさを思い知らされました。21世紀からは、絶対変身するぞ！

このテレビの こちらへ 海です



道場を離れると優しい素顔…
達ちゃん監督



浜坂町に数ある相撲取塚の一つ



毎日の仕事浜坂の朝市へ魚の仕入に

【2000年10月22日放送
第1204回】

口ケだよ

気合いと愛情一筋 潮風でドスコイ 〈但馬 浜坂町より〉

相撲提句が伝わる城崎郡竹野町等、相撲の盛んな土地柄の但馬。美方郡の浜坂町にも、川下祭等で大々的に相撲の興行が行われた記録や、古いお相撲さんの塚が八基も残っています。何でも、江戸時代の北前船の時代、船の乗組員が、風待ち潮待ちの間「相撲大会を度々開いたことが現在も伝統的に残っているのだそうです。そんな但馬の浜坂町では『裸の町へい』と云うスローガンをかけ毎年秋に町民相撲大会を開いています。

通称『株建道場』この道場は地元の本木建設さんが造った道場です。平成四年、大学相撲で鍛えた山田達也さんが町に帰ってきたのを機会に、町の入り口にもある裸の町へいをうけて、会社には相撲部を、又、地元から立派な豆力士を育てたいと造った道場なのです。

山田達也さんは昭和四十年生まれの三十五才、重い心臓病を持って生まれた彼は小学三年生の時に大手術、その後、病に負けるなど云う、両親の教育方針のもと、小学校時代は空手を習う等病気を克服、中学から始めた相撲で又キメキと力をつけ、相撲の名門・姫路の市川高校では双子の兄・道紀さんと共に市川高校に山田兄弟ありと云われる迄に…その後、専修大学でも相撲一筋。大学卒業後、日本の相撲道場と云われる東京は上野の道場で子供の指導方法を学び浜坂町へ帰ってきました。

家業は水産加工とカヌキの店。兄は埼玉栄高校の相撲部の監督に、弟の彼が故郷で家業を継ぎました。

株建道場は一年三百六十五日、毎日道場を開けています。兵庫県中学選手権で三連覇、通算六回の優勝と近畿大会で優勝、今年も三人が進学した高校から団体に出場しました。又、この道

場で鍛えた生徒が大相撲の三保ヶ関部屋で関取を目指し修業しています。道場を造られた本木建設さんは『根性とというのは抽象的で鍛練の尺度にならない。相撲では鍛えられた体を持続して表現するのは辛抱という言葉』と云われた三保ヶ関親方の言葉が非常に印象深く心に残っていると話しておられました。この道場を築いた子供たちが怪我をしたり心に傷を負った時に帰れる所、それがこの道場なのです。

『努力は人を裏切らない』山田達也さんの座右の銘と云えを言葉が掲げられた株建道場。今、小学生から中学生迄二十人程の子供たちが山田監督の厳しい練習に…毎日学校が終わって二時間練習に励んでいます。まわしを着けるのをためらった子供もいた道場開設の頃、小さい声で自分の意志をハッキリと云えない子供、親離れの中々出来ない色々な子供たち、でもこの道場に来るようになって本木に変わったと云う多くの子供たち。子供たちに大切な縦割りの子供社会がここにはあるのです。稽古前の掃除、終わってからの掃除、子供たちは大人や先輩への礼儀やけじめを体で覚えています。目的を持っているから、いくら練習が厳しくても止めようと思わないと云う子供たち。厳しさと優しいを、山田達也さんの厳しい指導に、涙を流し、擦り傷だらけになっても耐えようとする子供たちの姿に、心の繋がり、信頼関係の大切さを感じた道場。願ひは『この道場で修練した子供達が、培った辛抱の体験を、どんな社会に居ても、何時までも持ち続けてほしいと思っています』とありました。『子供を指導しながら子供に教えられる』山田達也さんの言葉です。